

令和6年度 学校教育アンケートの集計結果について

四国中央市立豊岡小学校

1 児童・保護者アンケート、教職員自己評価

※ 各アンケートのA（よくできた）B（まあまあできた）の合計が85%以上を「A」、C（あまりできなかった）D（できなかった）の合計が30%以下を「C」としています。また、前年度12月の比較で上昇したものを↑、下降したものを↓としています。

	アンケート項目	児童	保護者	教職員	総合	学校関係者評価
1	児童は楽しく登校している。	A	A	A	A	
2	児童は外で元気よく遊べている。	A			A	
3	児童はよい姿勢で学習できている。	B↓	C	C	C	
4	児童は学習内容を理解している。教師は授業改善を行っている。	A	A	A	A	
5	児童は学年相応分の家庭学習をしている。	B	C	C	C↓	
6	児童は読書をよくしている。	A	C	B↑	C	
7	児童は「早寝・早起き・朝ごはん」ができています。	A	B	A	A	
8	児童は大きい声で挨拶ができています。	A	A	A	A	
9	児童は気持ちのよい「はいっ。」の返事ができています。	A	B↑	A	A↑	
10	児童は履き物をそろえができています。	A	C	A↑	B	
11	児童はお手伝いができています。	B↓	B	A	A	
12	児童は委員会・係・ボランティア活動がよくできています。	A		A	A	
13	児童は自分の目標を決め、やりぬくことができています。	A	B	A	A↑	
14	児童は学校や社会のルールを守れている。	A	A	A	A	
15	児童は正しい言葉遣いができています。	A↑	B	B	B	
16	児童は友達と仲良くすることができています。	A	A	A	A	
17	児童は相手を見て話を聞くことができています。	A	A	A	A	
18	児童は自分の思いや考えを相手に伝えることができています。	A			A	
19	ゲームやインターネットのルールを決めて守ることができています。	B↓	C	B	B	
20	教師は、授業のユニバーサルデザイン化に努め、身に付けさせたい学習内容の理解を深めるためにデジタルとアナログを効果的に活用している。			A	A	
21	教師は学習や生活の決まりをしっかりと指導し、確実に見届けを行っている。			A	A	
22	教師は、教育相談を充実させ、相談事や悩みについて適切に応じている。	A↑	A	A	A	
23	児童は次の日の準備をしている。教師は、宿題や忘れ物がないよう、きちんと指導している。	A	B	A	A	
24	学校ホームページや学校通信など各種お知らせに目を通している（保護者）		A		A	
25	学校が保護者に出す文書や電話の対応等は、適切である。		A	A	A	
26	学校は、いじめ防止に向けた取組を進めている		A	A	A	
27	学校は、アンケート結果等を生かし、よりよい教育活動を進めることができています		A	A	A	

28	教師は、人権・同和教育の視点に立った指導をしている。		A	A	A	
29	教師は、一人一人を大切にした指導・支援をしている。		A	A	A	
30	危機管理マニュアルを活用したり、安全点検を行ったりして、児童の安全確保に努めている。		A	A	A	
31	児童は、黙って汗かく清掃ができています。	A		A↑	A	
32	児童は、マラソンの学年目標を達成している。	A		B↑	B	
33	育豊会や学校運営協議会と連携がとれている。		A	A	A	
34	教師は個人目標を設定するなどし、意欲的に働き方改革に努め、働きやすい、働きがいのある職場になっている。			A	A	

2 考察と保護者記述欄（成果○、課題●、改善策とお願い→）

考察

- ・7月より評価が上がった項目が多くあります。
- ・全体的に児童の評価が高い傾向があります。
- ・同じ質問項目でも、児童、保護者、教職員の間に差が見られます。
- ・立腰、読書、家庭学習、メディアバランスなど、前回から引き続いてC評価のものが複数あります。家庭学習の時間は6月より豊岡っ子のくらしで毎月チェックするようにしました。家庭学習の時間をしっかりと確保できている児童がいる一方で、宿題以外は家庭で学習をしない児童も多くいることが分かりました。児童間で学習時間に差があり、平均値としては、“学年×10分+10分”の目標をクリアできていないところがあります。学校での学習と家庭学習との両方で学習の定着を図ることができます。家庭での声掛けよろしくお願いたします。

保護者の皆様からのご意見

【連絡方法や配布物について】

- tetoru でもっとプリントを送信して、持ち帰るプリントを減らせば、渡し忘れや提出忘れも減るのでないか。
 - 今後なるべくtetoruを活用し、配布物を少なくするように努めます。紙媒体の方が良い方もいるので、今のところ併用にしますが、tetoru移行を進めていきます。
- 月毎の行事予定表に、学年ごとの下校時刻を記載してほしい。予定表もアプリを使って知らせるので良いのでは。
 - 配布用には2月行事予定より、下校時刻も載せていきます。
- 集金袋をやめて全て引き落としにしてほしい。
 - 金融機関担当者、事務長とともに引き落としを検討しました。今も検討していますが、金額面を全校で統一する、金融機関の引き落とし業務が何年後かには終了するなどハードルがいくつかあります。今のところ、現在の方法で学級費を集金することが一番良い方法だと考えています。
- カラー写真を加えたお便り、分かりやすく続けてほしいです。
 - 今後も可能な範囲で続けていきたいと思えます。

【行事に関すること】

- 行事も充実していて、楽しい学校生活を過ごしている。育豊祭は地域の方もとても楽しかったと言っていた。これからも続けて欲しい。
- 音楽会や育豊祭など、2学期は大きな行事もあり、楽しんで学校に行くことが出来た。
 - 学校行事へのご協力ありがとうございます。今後も家庭や地域と協力しながら「行くのが楽しみな学校」を目指していきます。
- 育豊祭では、前日に雨が降り、寒さが厳しい1日でしたが、子どもたちの笑顔に癒された1日であった。ただ寒かったのも、もし安全上問題がなければ使っている教室にあるストーブなどの暖房器具をつけてほしい。
 - 教室の人数等に合わせ、ストーブやエアコンを活用していきます。

【育豊会に関すること】

- コロナで行事が少なくなり良かったと思っていたが、お祭り集会、太鼓台運行で太鼓を一
台にする、育豊祭、運動会を午前中だけにする等できないか。全部ではなくとも、少しでも
減らしていく方向で検討してほしい。
- 今年度人権同和教育部と広報部が合併したが、児童数減少に伴って、今後の負担がどんど
ん大きくなってしまふ。一度、部のあり方を見直す機会を設けていただきたい。
- 毎年、役員決めをするようになると、この少ない人数で役をしなければならないことや、
一部の部に負担が偏っているのではないかと思う。また学級 P を 6 年までにしなければなら
ない聞いたが、毎年、役につくので難しいのではないか。今後、人数も減っていく中
で、負担が大きいのはどうなのかなと思う。現状に合わせた改善があると、やりやすくなる
のではないかと思う。
→ 育豊会の専門部についてのことですので執行部に伝えていきます。育豊会関係のことは年
度初めの育豊会総会で決まります。総会にて改めてご意見をいただきたいと思ひます。
- 夏休み中のプール開放は熱中症警戒アラートがほぼ毎日出ていたので中止するべきだと思
う。
→ プール開放の際にご協力ありがとうございました。プール開放は育豊会が主体となつて
いますので執行部に伝えていきます。育豊会中心の行事についても年度初めの育豊会総会で
決まります。総会で改めてご意見をいただきたいと思ひます。

【指導に関すること】

- 音楽専科がないのに驚いた。音楽会の伴奏も保護者のボランティアになっていた。音楽
に関する仕事に就きたいと思ひている子もいるかもしれない。専門的な勉強をされた音楽の
教員がいるとよい。
→ 小学校教員は全ての教科を教える免許を持っています。担任も、子どもたちも音楽科も
楽しく授業を進めておりますのでご安心ください。
- J A の前の横断歩道に見守りの大人が誰もいないのを何度か見かけた。車通りが多く誰か
がいないと危ないなと思ひた。
→ 教職員も登校指導しております。駐在所や保護者の皆様も見守り活動をしてくださ
っています。守り育てる協議会等でも子どもたちが安全に登校できるように改めてお願いし
ていきます。
- 休日明け月曜日の荷物が、どうしても多くなつてしまふ。Chromebook 学習も大切な事だ
が、持ち帰りや持参の日等良い方法がないか。
→ Chromebook を毎日持ち帰るように推奨されており、市内では毎日持ち帰っている学校
もたくさんあります。本校は児童の登下校の負担を減らすため、今のところ週末や休日の
前日に持ち帰っています。今後は少しずつ持ち帰る日を増やします。Chromebook は学
習道具の一つとして、家庭での学習に使うことが有効です。体操服等の持ち帰りをずらす
など工夫していきます。
- 欠席しても Chromebook で授業視聴できる時間を増やしてほしい。ただし、欠席者と先生
が会話していると授業が止まってしまうので、改善は必要。
→ 作業が多い教科等は難しい面もありますが、可能な限りオンラインで視聴できるように
していきます。体調に合わせて参加できる場合は担任にお声掛けをお願いします。
- 様々な取組が、児童のことを考えているなと思ひます。係活動もその子のやりがいや自信にも
繋がるので、有り難い。
→ 同様のご意見をいくつかいただきました。今後も子どもたちのために保護者と連携して
支援していきます。何かありましたら、いつでもご相談ください。
- 豊岡は高齢者が多い地域なので、認知症サポーター養成講座を豊岡小学校でも実施しては
どうか。
→ 認知症サポーター養成講座については、3 学期実施の方向で進めております。
- 上着はナップランドに入る大きさでとあるので、薄手のウィンドブレーカーのみで、分厚
いものはいけないのか。
→ 寒い日もあり、分厚いものが必要な日もあるので着用して大丈夫です。分厚いコート等
を教室のロッカーの上等に置くことで落として汚れたり、踏んで滑ったりするなどな安全面
で配慮が必要になります。ナップランドや横断バッグに小さくたたんで入れる練習をしていただ
けると助かります。どうしても難しい場合は、担任にご相談ください。

3 学校運営協議会委員による評価結（2月実施）
市共通の評価（6、7、8は、学校独自の項目）

(1) 構成メンバー

学校運営協議会会長(公民館長)、副会長（PTA会長、保護司）、委員（市議会議員、元小学校長、ふるさと豊岡副会長、主任児童委員、中学校長）

(2) 実施回数

- ・第1回 令和6年4月11日 委員10名、事務局1名、地域連携教員1名
- ・第2回 令和6年9月27日 委員8名、事務局1名、地域連携教員1名
- ・第3回 令和7年2月7日 委員7名、事務局1名、地域連携教員1名

(3) 評価と考察

番号	評価の観点	評価			
		とても当てはまる	どちらかという当てはまる	どちらかという当てはまらない	全く当てはまらない
		4	3	2	1
		R 5		R 6	
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	3.7		4	
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	3.2		3.5	
3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できているか。	3.6		3.9	
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	3.4		3.5	
5	学校関係協議会は、適切に運営されているか。	3.7		3.9	
6	子どもたちにとって「行くのが楽しい学校」になっているか。	3.6		3.8	
7	いじめ等の未然防止・早期発見・早期対応に努めているか。	3.4		3.6	
8	学校と保護者・地域が連携して、危機管理ができていないか。 (校区の危険箇所点検・児童の登下校の安全確保・施設設備の安全)	3.8		3.5	

(具体的改善策等の提言)

- 行事や集会、参観日など多方面で案内し参観いただいたことで、学校教育への理解が深まり協力体制の確立につながった。
- スクールサポートボランティアの活用が増加し、児童の学びの充実や教員の負担軽減につなげることができた。
- 樹木の選定、除草作業など環境整備等についても地域と連携して進めることで、コミュニティ・スクールとしての活動を推進していくことが大切である。
- 地震をはじめとする自然災害への対応を話し合っ共通理解を図る必要がある。